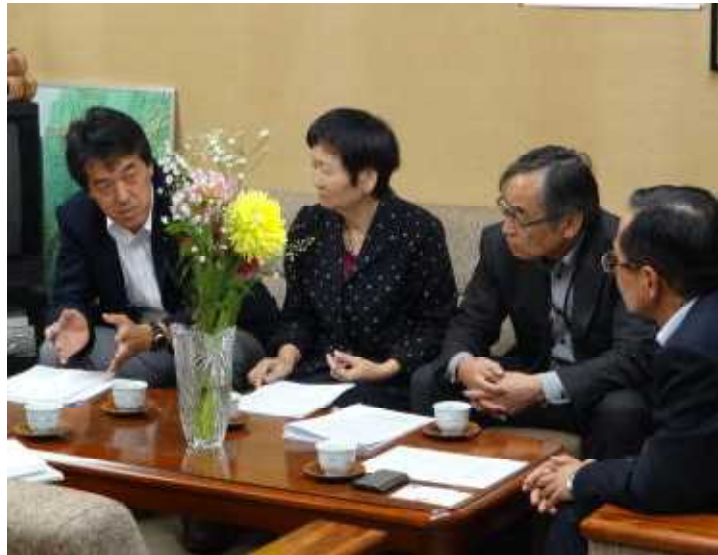




# 米価暴落への緊急対策を

## 共産党県委、県に緊急要望書提出



県に要望を行う日本共産党山形県委員会の一団（左から関とおる鶴岡市議団長、渡辺ゆり子県議、本間和也委員長）

日本共産党山形県委員会は30日、吉村県知事宛に「米価暴落に対する緊急要望書」提出をおこないました。

関徹鶴岡市議団長も出席し、午後3時に、本間和也県委員長、渡辺ゆり子県議、今野誠一山形市議団長などと県庁農林水産部に出向き、若松正俊部長、小松伸一県産米ブランド推進課長の他職員5、6人が応対しました。

最初に本間委員長が、  
1. 各種支払いの期限延長、返済猶予を関係機関に働きかけること。  
2. 国に過剰米の市場隔離を行い、需給調整に直ちに乗り出すよう求めること。  
3. 国に主食である米の需給と価格の安定に責任を持つよう求めること。  
4. 国に今年度の直接支払い交付金の半減措置撤回、農家の経営安定対策を求めること。  
5. 価格下落に対する緊急補助を検討すること。

200万円減収  
「お先真っ暗」との農家の声を紹介

関徹市議は、兼業で2町5反作っている50代前半の男性が50万円の減収になり、「半年間、汗水流して頑張ってきたのは何のためだったのか・・・と頭を殴られたようなショックだ」と言っている話し、10町歩を超える農家が200万円以上の減収となり、「大規模化して国際競争力をつけられなくていけない」と言われて頑張ろうとした矢先に「お先真っ暗」になったと話し、鶴岡にとつての農業・稲作の位置づけなどなど紹介し、吉村県政にふさわしい力を発揮することを求めました。

今、市内では、地域経済の存亡のかかる大問題として、農家・農業関係者にとどまらない大きな反響が広がっています。  
「頑張れば希望が見える」と美辞麗句を振りまいてきた安倍政権の退陣と、鶴岡で農家が生き残っていくための運動がいつにも増して求められています。

## 覆とおるの きつぱり発言、ドンドン行動



7月14日に県議選への立候補を表明してからもうすぐ3ヶ月経とうとしています。

多くの市民の皆さんとお会いする中で、安倍政権の悪政の強行に對する不安と怒りが日増しに広がっていることを実感してきました。

広がる不安、渦巻く怒り

4月の消費税増税の強行の結果、4～6月期のGDPが年率換算17・1%と、東日本大震災直後の16・9%をも上回る急激な落ち込みを示しました。天災より酷い人災です。

『社会保障のための消費税』が上がったのに、年金は下げられ、医療費は増やされた(70代女性)。「アベノミクスに明るい見通しはまったく感じられない。職場では

消費税増税反対の声が届かぬ県議会

早期退職募集がおこなわれた(40代男性)といった声が行く先々で聞かれました。

ところが、今年3月の山形県議会では、消費税増税に反対を表明したのは、山形市区選出の日本共産党渡辺ゆり子議員一人だけ。鶴岡市区の5人の現職県議も全員が増税容認の態度を示しました。

私は、消費税が導入されてから25年間、市議になる前から消費税導入・増税に反対する運動に携わり、市議会では消費税増税反対の請願を採択すべきと主張してきましたが、この問題でも市民の暮らしの声を県議会にしっかりと届けていきたいと決意しています。

党側からは、この問

# 河野談話見直し採択強行

## 政府への意見書案は撤回に

山形県議会は、山形再生会議から提出された「慰安婦問題」について河野談話を見直し、新しい政府見解の表明を求める意見書の提出について「の請願を6日の総務常任委員会

山形県議会は、山形再生会議から提出された「慰安婦問題」について河野談話を見直し、新しい政府見解の表明を求める意見書の提出について「の請願を6日の総務常任委員会

を認めながら見直しの請願に賛成しました。が、談話見直しの明確な理由を上げることができませんでした。常任委員会でも全会一致とならなかったため、慣例により委員会

発議の意見書になりませんでした。

県民の批判で自民が意見書案を撤回

8日の本会議で、自民議員により提出された意見書案が撤回されたため、政府機関への見直しを求める意見書提出は行われな

提出を阻止しました。

鶴岡市役所前で

市民有志が抗議集会

鶴岡市では、3日、

市役所前で市民有志による「山形県議会への『河野談話見直し請願』提出に抗議し採択をやることを求める緊急集会」が行われ35人の市民が座り込み、抗議の声を上げました。



3日の抗議集会 連帯の挨拶をする関とおる党市議団長(上)と市民有志(下)＝鶴岡市役所前

## 「ひきこもりからの回復」講演会

### NPO法人 一歩・自立支援センターふきのとうが開催

特定非営利活動法人一歩(渡部新一理事長)と、自立支援センターふきのとう(白幡康則代表)が共同提案し、ひきこもりの若者の自立支援に向けた県の

そのうえで、ひきこもりの人たちは「外に出たい」という気持ちがあり、方向の定まった継続的な社会的支援の必要性を強調されました。

「地域若者安心生活構築推進事業」で採択を受けた事業の一つとして、4日に「ひきこもりからの回復」(サポーターのメンタルケア)と題して、中垣内正和氏(精神科医・新潟市佐渡荘副院長)の講演会が行われました。

白幡代表からは、「昨年行った県の調査報告によれば、ひきこもりは県内で1607人、鶴岡には188人いる」となっているが、実際は倍以上の方がいるのでは」と話が出され、行政や地域、家族の連携した支援策が改めて必要だと感じました。

中垣内氏は、長年取り組んできた「ひきこもり外来」とその「親の会」の活動を通じてアンケートを集め、その結果見えてきたものは、当事者の受診と話し合える「親の会」と

会では次回二月二日に「ひきこもりの支援の在り方」についてシンポジウムを開催する予定となっています。

### 土木課入札結果 ( ) 内は予定価格

10月2日入札分

- ・市道竹の浦神子沢油戸線神子沢隧道補修詳細設計業務 (西目地内)  
(株)CPC山形事務所 16,550,000円 (21,148,000円) 期間~27/3/30 (落札率78.3%)

### 下水道課入札結果 ( ) 内は予定価格

10月2日入札分

- ・平成26年度鶴岡市集落排水事業 上郷地区 (機能強化対策) 2弁式真空弁新設工事 (西目地内)  
中止

### 建築課入札結果 ( ) 内は予定価格

10月2日入札分

- ・市立朝日中学校非常用し尿貯留槽整備工事  
東洋空調工業(株) 6,180,000円 (6,315,000円) 工期~11/28 (落札率97.9%)
- ・市立朝陽第二小学校太陽光発電設備等設置工事  
配工電気(株) 18,500,000円 (18,708,000円) 工期~27/3/25 (落札率98.9%)
- ・市立朝陽第一小学校太陽光発電設備等設置工事  
(株)渡会電気土木 20,200,000円 (20,438,000円) 工期~27/3/25 (落札率98.8%)
- ・市立鶴岡第五中学校太陽光発電設備等設置工事  
(株)デンケン 20,400,000円 (20,624,000円) 工期~27/3/25 (落札率98.9%)
- ・市立豊浦中学校太陽光発電設備等設置工事  
(有)斎藤電気工事店 20,300,000円 (20,526,000円) 工期~27/3/25 (落札率98.9%)

「居場所づくり」「支援員の家庭訪問」などが有効であり、ひきこもりは回復し「長期化は阻止できる」「就学や就労など、社会参加ができる」と報告。

